

様式第二號ノ一(勞働組合證明書)

第 號

證明書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

代表者住所氏名

右者勞働組合法第二條第一項ニ該當スル勞働組合ナル

コトヲ證明ス

昭和 年 月 日

知事

様式第二號ノ二(法人タル勞働組合タリ得ベキモノナル證明書)

第 號

證明書

名 稱

設立代表者住所氏名

右者勞働組合法第二條第一項ニ該當スル法人タル勞働

組合タリ得ベキモノナルコトヲ證明ス

昭和 年 月 日

知事

様式第三號(勞働組合否認決定書)

第 號

決定書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

代表者住所氏名

右者 地方勞働委員會ノ決議ニ依リ勞働組合法第

二條第一項ニ該當セザルニ至リタルモノト決定ス

昭和 年 月 日

知事

様式第四號(勞働組合法規約變更命令書)

第 號

變更命令書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

代表者住所氏名

右者ニ對シ勞働組合法第八條ノ規定ニ基キ

方勞働委員會ノ決議ニ依リ其ノ規約中左ノ通變更スベ

キコトヲ命ズ

記

一 「トアルヲ」 「トス

二 「トアルヲ」 「トス

昭和 年 月 日

知事

様式第五號(勞働組合清算終了届出證明書)

第 號

證明書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

清算人住所氏名

右者勞働組合ノ清算終了ノ届出ヲ爲シタルコトヲ證明

ス

昭和 年 月 日

知事

朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍を北緯三十度以南(口之島を含む)の鹿兒島縣又は沖繩縣に有する者の登録に關する省令公布

昭和二十年勅令第五百四十二號「ポツダム」宣言の受諾に伴ひ發する命令に關する件に基く朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍を北緯三十度以南(口之島を含む)の鹿兒島縣又は沖繩縣に有する者に關する登録令は昭和二十一年三月十三日を以て左の如く公布された。

朝鮮人、中華民國人、本島人、及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)鹿兒島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者登録令

昭和二十一年三月十三日 厚生省令第一號

第一條 朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿兒島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者ノ歸還希望ノ有無ヲ調査スル爲登録ヲ實施ス  
第二條 登録ハ昭和二十一年三月十八日午前零時ノ現在ニ依リ同時期ニ於テ内地(特別ノ事情アル地域ニシテ厚生大臣ノ指定スルモノヲ除ク以下同ジ)ニ現在スル者ニ付之ヲ行フ  
前項ノ時期前ニ内地ノ港灣ヲ發シ途中寄港セズシテ同項ノ時期後二日以内ニ始メテ内地ノ港灣ニ入リタル者ハ同項ノ時期ニ内地ニ現在シタル者ト看做ス  
第三條 登録ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

- 一 氏名
- 二 年齢(數(年))
- 三 男女ノ別
- 四 本籍地
- 五 住所
- 六 職業
- 七 歸還希望ノ有無

八 歸還ヲ希望スルトキハ其ノ目的地

第四條 世帯主ハ其ノ世帯ニ現在スル第二條第一項ニ規定スル者ニ付第三條各號ノ事項ヲ別ニ定ムル申告票用紙ニ記入シ府縣知事ノ定ムル期日迄ニ市町村長又ハ別ニ定ムル登錄調査員ニ提出スルコトニ依リ申告スベシ

世帯ニ於テ世帯主不在ナルトキハ事實上之ヲ管理スル者又ハ登錄調査員ノ指定シタル者ヲ以テ世帯主ニ看做ス

第二條ノ時期ニ汽車、電車、其ノ他世帯ナキ場所ニ現在シタル者及聯合國軍ノ管理スル建物若ハ地域又ハ中華民國人以外ノ聯合國人ノ世帯ニ偶現在シタル者ハ同條ノ時期後始メテ到着シタル世帯ニ現在シタル者ト看做ス

本令ニ於テ世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂ヒ一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦一世帯トス家計ヲ共ニスルモ別ニ住居ヲ有スル者又ハ住居ヲ共ニスルモ別ニ家計ヲ立ツル者ハ別ノ世帯トス其ノ一人ナル場合亦同ジ

寄宿舎、病院、旅館、下宿屋、合宿所ノ場屋又ハ船舶ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセザル場合ト雖モ一場屋又ハ一船舶毎ニ一世帯ニ準ズ

第五條 市町村長ハ第四條第一項ノ規定ニ依リ提出セル申告票ヲ朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者ノ各別ニ編綴シ登錄簿ヲ作成スベシ

第六條 市町村長ハ前條ノ登錄簿ニ依リ府縣知事ニ(府縣支廳長ノ管轄區域内ノ町村長ハ府縣支廳長ヲ經テ)其ノ定ムル期日迄ニ左ノ事項ヲ報告スベシ

一 朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者各別總數

二 朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者各別歸還希望者數(朝鮮人歸還希望者ニ付テハ歸還目的地ノ北緯三十八度線ニ依ル南北朝鮮別及其ノ道別、中華民國人歸還希望者ニ付テハ歸還目的地ノ華北、華中、華南別、本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿児島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者ニ付テハ歸還目的地ノ各島別)

府縣知事前項ノ報告ヲ受理シタルトキハ之ヲ速ニ取纏メ厚生大臣ニ報告スベシ

第七條 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ第二條第一項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ府縣知事ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ經テ區域ヲ限リ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條ノ規定ニ違反シ申告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ申告ヲ爲シタル者

二 第四條ノ規定ニ依ル申告ヲ妨ゲタル者

三 登錄調査員ノ事務執行ヲ妨ゲタル者

京都長官及北海道廳長官ヲ、府縣支廳長トアルハ東京府支廳長及北海道廳支廳長ヲ、市町村トアリ又ハ市町村長若ハ町村長トアルハ各々之ニ準ズベキモノヲ含ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
なお本令第二條第一項ノ規定ニ依る地域は同日厚生省告示第三十三號を以て次の如く指定された。

厚生省告示第三十三號(昭和二十一年三月十三日)

樺太  
全域

北海道  
國後郡、色丹郡、紗那郡、檉提郡、藥取郡、得撫郡、新知郡、占守郡、花咲郡齒舞村ノ内志賀島、多

樂島、水晶島、勇留島及秋勇留島  
東京都  
大島支廳管内全域、三宅支廳管内全域、八丈支廳管内全域、小笠原支廳管内全域

島根縣  
穩岐支廳管内五箇村ノ内竹島

鹿児島縣  
大島支廳管内(十島村ノ内竹島、黒島、硫黃島ヲ除ク)

沖繩縣  
全域

社會保險調查會官制の公布

終戦後の社會經濟事情及勞働情勢の變動にもとづき、社會保險制度は當面の議題に上されたが、政府は